

## [全日空ホテルクレメント高松]

# システムに人が合わせるのではなく 自然な流れで管理できることが魅力

JR高松駅正面に建つ「全日空ホテルクレメント高松の開業は2001年5月。  
「四国の迎賓館」として同エリアで最大級の規模を誇る同ホテルでは開業以来、  
婚礼・宴会総合支援システム「BVManager」で宴会業務の管理を行っている。

違和感なく電子化できるシステムに  
魅力を感じ、導入を決定

客室300室、13の宴会場などを備える「全日空ホテルクレメント高松」は、国、香川県、ならびに高松市が開発を進めるサンポート高松（高松港頭地区）内に位置する。JR高松駅新駅舎、高松港旅客ターミナルビルなどとともに、第1期計画の先陣を切って開業した。2004年には隣接地にコンベンションホールや文化施設、ビジネス機能を備えた大型複合施設、高松シンボルタワーが開業。現在は合同庁舎の建設も進められており、今後も瀬戸の新都として一層の発展が期待されている。

開業以来、高松を中心に発生する数多くの宴会・婚礼を獲得してきたが、その管理業務支援ツールとして欠かせない存在になっているのが、(株)ユニコーンの婚礼・宴会総合支援システム「BVManager」だ。

「このシステムの導入を決定したのは、まだ開業準備室の段階でした」と語るのは、同ホテル料飲宴会部宴会課副支配人の筒井健二氏。ある人から同システムを紹介され、実際に触れてみて即導入を決



全日空ホテル  
クレメント高松  
料飲部宴会部宴会課  
副支配人  
筒井健二氏

定したという。

「従来のシステムは、人が無理矢理その流れに合わせているところがありました。ユニコーンのシステムにはそれがありません。手作業と同じ感覚で管理ができるので、自然に入り込めるのです。さらに一番の決め手となったのは、発注業務が大幅に軽減される点でした」

今までの宴会管理システムは会場ブックキングと売上げ管理の機能しかなく、発注書の作成などは手作業せざるを得なかったが、同システムなら一連の流れの中で宴会調理部門や外部の取引先への発注も行うことができる。「業務的に比重が高かった」(筒井氏)発注作業を軽減できることに、大いにメリットを感じたわけである。

## ユーザーのニーズを汲み上げて 次期バージョンに反映

使い始めて改めて実感したのは、過去のデータを瞬時に、しかもさまざまな形で検索できる点だという。

「とくに四国では、宴会を4県持ち回りで行なうことが多いのですが、4年前のデータをすぐに取り出せるのはありがたい。担当者が代わっていても、すぐに細かい打合せに入ることができます」

6月には最新バージョンの導入を予定している。新バージョンにはメールや画面などをドキュメントとして宴会データと一緒に保存できる機能や、ホワイトボードなど宴会機材の管理機能など、今まで同システムを利用して「これが



情報システム事業部  
プロダクトSE  
馬場基晴氏

予約状況などをビジュアルに表示。見やすい画面づくりも同システムならではのもの。



あれば」と感じていた機能が標準装備されているという。それだけに今から楽しみにしていると筒井氏は微笑む。

「あとは営業マンが各自のPCを立ち上げると、それぞれのJODO画面が出るようになるといいですね」

ユニコーンのシステムの特徴は、こうしたユーザーの声に添って各ホテルごとにカスタマイズを行なっている点だが、もうひとつはカスタマイズ内容から全ホテル共通して扱える部分を抽出し、次期バージョンに盛り込んでいるところだ。パッケージ開発を担当する同社情報システム事業部プロダクトSEの馬場基晴氏は次のように語る。「お客さまに喜んでもらえる製品を目指して、常に現場担当SEとの連携を密にしながら、意欲的に取組んでいます」

これが同社のシステムならではの使い勝手のよさを生んでいるのである。